NIE実践報告

1．タイトル：**新聞を国語の授業で活用しよう**

2．学校名

北九州市立吉田小学校

3．実践者名（代表者名）

古賀清美

4．学年

６学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語科・３６人

6．単元（本時の学習課題）名

吉田小６年２組の主張～新聞記事を生かしてわたしも新聞に投書しよう～

7．目標(狙い)

自分の考えを明確に表現するために、理由や根拠をあげて意見文を書くことができる。

8．評価の視点

読み手を説得するために、引用する言葉や反論という方法を使って、意見文を書いている。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「平和のとりでを築く」～自分の考えを発信しよう～

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①　新聞の投書を日常から読み、コメントを書いておく。
さらに、どのようなことから自分の考えをもてたか、線を引きながら読む。
②　投書の特徴をとらえて、どんな構成で書くといいのか考える。（３時間）
③　生活の中から、自分の意見を言いたい題材を集める。（３時間）
④　書きたい題材について、読み手を説得できるように、引用する言葉や反論などの情報を集める。（３時間）

⑤　モデルをみながら、意見文を書く。（３時間）

（留意点）
・日頃から、多くの投書を読んでいると、書き方の特徴を知りことができる。また、自分の同じ意見をもつことも多くあり、題材集めにも効果的であった。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

題材が「挨拶運動のやりがい」「人の役に立つことがしたい」「平和は大切」など一人一人の考えが明確に出ていた。

12．成果と課題

読むことと書くことを組み合わせて学習することで、読む力・書く力がついてくる。日常から、投書を読むことで多くの人の様々な意見にふれることができ、考えの広がりも見えた。さらに、多くの情報を得て自分の意見を書けるようにしたい。